

AIで医薬品の需要予測 レセコンオプション発売

自動発注は行わず、AI発
注勧告リストを出力して薬
剤師の判断を仰ぐことで、
よりきめ細かい発注業務の
実現を促す。

ユニケ　ユニケソフト
ウェアリサーチ
は、人工知能（A
I）を活用した保
険薬局のための医薬品需要
予測サービスを、電子薬歴
レセコン一体型システム
「P-CUBEn」「P-C
UBE-i」のオプション製
品として発売すると発表し
た。

A-I 医薬品需要予測で
は、保険薬局のレセプトコ
ンピュータで入力した調剤
実績や在庫実績のデータを
クラウドで処理することに
より、薬局内のエンピユート
ティングだけでは実現が難
しかったA-Iによる医薬品
需要予測を実現。

医薬品の発注業務において、最適な発注品目・数量
を提案することで、大幅な
在庫金額や業務時間の圧
縮、欠品による機会損失の
防止などの効果が期待でき
る。

A-I 医薬品需要予測は、
簡単な発注条件の選択だけ
でA-Iが学習した調剤デー
タをもとに需要予測を行
い、最適な発注候補を提案

これまで医薬品ごとに
発注点を設定して発注する
ことがあったが、1品ごと
に適切な発注点を設定する
ことは難しく、また季節性
への対応が難しいこと等か
ら、在庫金額が増えがち
だった。

これに対し A-I 医薬品
需要予測は、季節変動や患
者の来局動向などを A-I が
学習することで、発注点の
設定は不要となる。

さらに、調剤頻度が低く
需要予測が難しい医薬品は
提案していく。

システムとクラウドを連携で
使うデジタル基盤を構築す
ることで、保険薬局で A-I
医薬品需要予測を活用し
た。